

公表：令和 3年 3月 25日

事業所名 児童デイサービス ノア

スタッフ数 5 回収数 5 割合 100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	0	利用定員は10名で設置基準は満たしています。活動内容によってはマットやテーブルを片付ける等して、必要なスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	5	0	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5	0	手すり付きの車いす用トイレ、可動式の玄関スロープなどを設置しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	0	送迎車両の運転スタッフなども各会議に参加しています。業務改善が必要な場面で、その都度確認を行い、会議等においてスタッフ全員で情報共有をして改善に結びつけています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	その他、日々の連絡ノートなどを通じて保護者との信頼関係を築き、保護者が意向を話しやすい環境づくりに努めています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5	0	ホームページで毎年公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	5	現在、第三者による外部評価は行っていません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	コロナウイルス感染症への配慮から、研修自体が少なかったですが、必要なものには参加しています。参加したスタッフからスタッフ会議等で伝達研修を受けています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	現在は法人独自のアセスメントシートを使用しています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	毎月、スタッフ会議で話し合っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	5	0	曜日ごとにテーマを変更し、季節に合わせたものなど様々な活動内容を取り入れるように工夫しています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	

	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	常勤スタッフは毎朝、朝礼を行い役割分担や送迎時間、活動の内容などを確認しあっている。送迎担当スタッフには、変更事項などを伝達している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	0	支援中も各スタッフがメモを残し、それを見ることで情報の共有に努めています。支援終了後にはメモの内容をケース記録に入力しスタッフ間で確認します。スタッフ会議等ではそれぞれのこどもの気になる点について出し合い対応について話し合っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	支援中も各スタッフがメモを残し、それぞれの視点から見たこどもたちの様子を記録できるようにしています。このメモを元にケース記録に入力し、モニタリングの際の検証や改善につなげるようにしています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	6か月に1回確実に行っています。目標の見直しや達成度などを話し合っています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	5	0	ノア日より(月予定表)には療育活動の内容も掲載し、様々な活動を取り入れています。日々更新される法人のホームページにも活動の様子などをアップしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	主に児童発達支援管理責任者が参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	年間計画、行事予定表、下校時刻表などは必要時に確認しています。ご家族から下校時刻変更の連絡がなかった場合などに学校から連絡をいただければ急遽であっても迅速に柔軟に対応しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	5	現在は医療的ケアが必要なこどもは受け入れていません。看護師等も不在で対応できる設備も整っていないため受け入れ自体が難しい状況です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	例年であれば訪問等をして様子を見たり、直接担当職員にお会いして情報共有をしています。現在はコロナウイルス感染症への配慮から訪問は難しいため、新規利用児童については、電話や書面での情報共有に努めています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	5	0	移行会議などに参加し、情報提供を行っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	0	研修は受けていませんが、必要時に連携をとってアドバイスなどを受けています。

	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	5	コロナウイルス感染症への配慮から、現在は活動する機会の確保が難しい状況です。次年度は感染状況などを考慮しながら実施を検討していきます。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	0	5	現在は参加していません。今後、参加を検討していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5	0	日々、連絡ノートなどで連絡を取り合っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	5	困り事、悩み事に対してのアドバイスは行っていますが、専門の指導員が必要なペアレントトレーニングは行っていません。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	契約の際は丁寧な説明を心掛けています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	保護者からの困り事や悩み事に対する相談や助言などは必要時に行っています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	5	コロナウイルス感染症への配慮から、現在は活動する機会の確保が難しい状況です。次年度は感染状況などを考慮しながら実施を検討していきます。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	苦情は特にありませんでしたが、もしあった場合には迅速かつ適切に対応していきます。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	年1回発行の法人の会報「ゆ〜とびあだより」、毎月発行の「ノアだより」、この他随時法人ホームページにて情報を発信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	0	こどもの名前が載った送迎表などは使用后ただちにシュレッダーにかけるなど注意して処理しています。また、書類などは鍵のかかる場所で保管するなど取り扱いには注意しています。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	5	コロナウイルス感染症への配慮から、現在は活動する機会の確保が難しい状況です。次年度は感染状況などを考慮しながら実施を検討していきます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	保護者への周知のため各種マニュアルはノア入り口に掲示しています。ただし今年度は保護者説明会が、コロナウイルス感染症への配慮から開催できなかったため周知不足だったと思われます。 職員に対しては回覧する月を決めて、年2回程度回覧し周知しています。

39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	月1回は集団療育活動のプログラムに組み込んで、風水害、火災、地震、防犯など様々な場面を想定して訓練をしています。
40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5	0	職員を外部研修に出し、スタッフ会議の中で伝達研修を行っている。また、スタッフへはストレスチェックを実施したり、新聞記事などを通じて注意喚起などを行ったりしています。
41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	0	5	現在、身体拘束の必要なこどもはいませんが、必要のある場合には適切に対応します。
42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	5	現在、食物アレルギーのあるこどもは利用していません。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	法人内の他事業所で起こったヒヤリハット事例も毎月スタッフ会議で共有し再発防止に努めています。